

# 薬物乱用の恐怖

たった一度が  
命取り



## 薬物を乱用すると…

乱用される薬物は、中枢神経に作用することから、乱用したときの快感を得たり、薬物の効果が切れたときの苦痛から逃れるため、薬物による効果を強く求めるようになる「依存性」が形成されます。

また、薬物を繰り返し使用しているうちに同じ量では効かなくなる「耐性」が生じます。

一度だけ…という好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存性と耐性によって、乱用する量や回数がどんどん増えていくという悪循環に陥り、自分の意志ではやめることができなくなります。

薬物を乱用すると、精神に異常をきたし、妄想や幻覚から自殺を図ったり、さらには、殺人・強盗等の凶悪犯罪を引き起こしたりするケースも少なくありません。

また、乱用をやめても、睡眠不足や過労、ストレス、飲酒等をきっかけに、突然、幻覚や妄想等の精神障害が現れるフラッシュバック（再燃現象）が起こることがあります。

## 精神・身体への影響について

覚せい剤をはじめとする薬物の乱用は、精神と身体の両面を深く致命的に破壊します。

脳の正常な発達を止めてしまい、精神のバランスを悪くさせます。

乱用により、一時的に頭が冴える、神経が興奮するというような感覚を得たように感じられることがありますが、その後、強烈な脱力感や疲労感に襲われ、ついには幻覚・妄想といった精神障害が引き起こされます。

また薬物の乱用は、身体的主要な器官に右のような深刻な悪影響を及ぼし、最悪の場合、死に至ることもあります。



- 例
- 覚せい剤 → 覚せい剤精神病 → 幻聴、幻視、妄想など
  - 大麻 → 大麻精神病 → 幻覚、妄想など
  - シンナー → 有機溶剤精神病 → 幻覚、妄想など



# 乱用薬物等の種類

## 覚せい剤

形状は主に白色の粉末や無色透明の結晶で、無臭でやや苦みがあります。

俗に、「シャブ」、「スピード」等と呼ばれており、「ヤバー」と呼ばれる錠剤型の物もあります。

依存性が強いいため、乱用がやめられなくなり、「いつもみんなが自分を見て悪口を言っている」「誰かが自分を殺しに来る」などといった幻覚や妄想に襲われ、時として錯乱状態となります。

また、覚せい剤を大量に摂取したことで急性中毒に陥り、死亡するケースも珍しくありません。



覚せい剤の結晶

## 大麻

大麻とはアサ科の1年草である大麻草とその製品をいい、葉を乾燥させた乾燥大麻（マリファナ）、樹脂や若芽をすりつぶして固めた大麻樹脂（ハシッシュ）、葉や樹脂から成分を抽出した液体樹脂（ハシッシュオイル）があります。

大麻を乱用すると、思考が分裂し、感情が不安定になります。

このため、興奮状態に陥り、暴力的・挑発的な言動をとったり、さらには、幻覚や妄想に襲われるようになります。



大麻草



乾燥大麻



大麻樹脂

## MDMA

MDMAとは、覚せい剤と似た化学構造を有する薬物で、けしやコカ等の植物からではなく、他の化学薬品から合成された麻薬の一種で、「麻薬及び向精神薬取締法」で麻薬として規制されています。

MDMAは別名「エクスタシー」と呼ばれ、本来は白色粉末ですが、多くは様々な着色がされ、文字や絵柄の刻印が入った錠剤の形で密売されています。

強い依存性があり、乱用を続けると錯乱状態になることがあるほか、胃・肝機能障害や記憶障害等の症状も現れることがあります。



MDMA

## ヘロイン

ヘロインは、けしを原料とした薬物で、けしからあへんを採取し、あへんから抽出したモルヒネを精製して作られます。

純粋なヘロインは白色粉末ですが、純度の低いものには灰色や灰褐色のものもあり、粉末のほかに棒状、板状、粒状等さまざまな形状のものがあります。

強い依存性があり、激しい禁断症状から精神に異常をきたすこともあります。また、大量に摂取すると呼吸困難、昏睡状態となり、死に至ります。



けしの花



ヘロイン

## その他の薬物

その他、規制されている主な薬物には、コカイン、LSD等がありますが、いずれも中枢神経に作用して精神機能に障害を及ぼす薬理作用を持っています。

また、向精神薬は、ほとんどが医薬品として流通していますが、医師の指示によらずに乱用すると、感情が不安定になる、判断力が鈍くなる、歩行失調になるなど、心身への障害が生じ大変危険なため、その不正な取引は、麻薬及び向精神薬取締法によって規制されています。



LSD紙片



コカイン粉末



コカの葉



LSD錠剤

覚せい剤等の違法な薬物などに関する情報やご相談について専用のフリーダイヤルで受け付けています。

**警察情報ダイヤル 0120-110-874**

又は最寄りの警察署・交番等までお知らせください。